

けんしゅうしましよ

2号

R1. 6. 27

文責 永井

道徳 主題名 自分にできることを
中心内容項目 C- (12) 主として集団や社会との関わりに
関すること(規則の尊重)
資料名 駅前広場はだれのもの
5の1 授業者 新川 里織

6月20日(木)2校時、5の1において校内研究授業が行われました。自我関与させる工夫や共通解のまとめ方など、今年度本校で目指す授業について考える機会となりました。



今後の道徳の授業作りに向けて

授業中、ある児童が「今日は調子が悪いな、考えられない!」と頭を抱えていました。これまで新川先生が行ってきた授業とは違う、「進め方」や「問いかけ」に苦しんだ素直な姿なんだと感じました。同時に、授業をされた新川先生、参観された先生方も同じ気持ちなんだと考え、研修を進める一人として反省しました。

歩みはゆっくりだとしても、「授業によって子供は成長するんだ」ということを認識した時、子供も教師も「授業っておもしろい」と思えるのだと考えます。4月からスタートした新たな研修ですが、今回の授業を通して、新たな課題や考えるべき視点が見つかりました。

新川先生、運動会後のお忙しい時期に、指導案作りと授業公開、ありがとうございました。

1 問題意識をもたせる導入について

◇本時の学習課題とつなげる

- ・事前研では、導入と課題との接続について話題になりました。
- ・研究授業では、「目の前で決まりを守っていない人がいたらどう思いますか」という発問によって、児童の認識を明らかにしたり、決まりについて関心を高めたりしていました。

2 自我関与させる授業展開であるために

◇自我関与とは

- ・24日の事後研において、「教材の登場人物に自分を投影して、自分の心を見つめること」という確認をさせていただきました。
- ・中心発問において、より自我関与させるまでの手立ては、同じ教材であったとしても学年や児童の実態によって違ってくるのだと思います。今後、先生方と深めていきたいテーマの一つです。

3 生活とつなげる振り返りとなっていたか

◇自分なりの納得解をもてるように

- ・新川先生より「牛乳パックの写真は出さなければよかった」という自評がありました。理由は、「思考を深めるヒントにはならず、牛乳パックをなくすための話し合いになってしまった」でした。
- ・展開後段から終末にかけてで、「この時間の学び」を自分で整理することは、今後の生活につなげていくうえで大切なポイントになってくると考えています。効果的な終末の在り方も今後検討していきます。

お知らせ

- ・7月1日(月)14時50分~(1時間程度)、3年1組で行われる授業研の指導案検討(学年部会)を行います。お忙しいところ申し訳ありませんが、ご協力をお願いします。